
暑いせいですよ

bunz0u

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暑いせいですよ

【Nコード】

N6521E

【作者名】

bunzou

【あらすじ】

大学生であるところの大杉涼音（19）は夏の暑さに苦しんでいた。そんな日のひとコマ。

すごく暑い日。ある地方の大学のキャンパスに暑苦しい大声が響いていた。

「そんなあ、涼音ちゃん。殺生な御無体なご勘弁な」

「ええい寄るな来るな！ このむさ苦しいヒゲが！」

大杉涼音（19）は迫り来る山男的なむさくるしい男に蹴りをいれた。

「アーウチッ！」

「その反応が！ その反応が暑苦しい！ 消えろ今すぐ消えろさあ消えろ」

「俺のハートはこんなに燃えさかつアーウチッ！」

金的以下略。

「その顔で燃えるとか言うな！」

うずくまる山男を無視して、涼音は涼しさを求めて歩き出した。

何か、何か見るだけで涼しくなるようなものはないのか。本人は気がつかないが、少々目を血走らせて歩き回るその姿は実に暑苦しい。

「涼音ちゃん、今日もかわいいねえ、ちよつとつきあつてよ」

涼音が勢いよく振り向くと、そこには。

「1つ、いや2つでも3つでも教えてあげとくけどね。まずあんたのその日焼けサロン肌は最悪。暑苦しい鬱陶しい。それからそのシヤツ。第3ボタンまで外してて、さらに下着も着てないのが最悪。暑苦しい鬱陶しい。あとそれ、磁気ブレスレットだか宇宙の神秘的な力を封じ込めたパワーアイテムだかなんだかしんないけど最悪。暑苦しい鬱陶しい」

こういった感じの野郎がいたのだが、涼音の罵倒に、「黙ってればかわいいのに」とか言いながらそそくさと逃げていった。

そこら中に牙をむいてるのに、そこら中から牙をむかれているような気分になった涼音の前にさっきの山男が見違えるような姿で現

れた。

「涼音ちゃん、これでどうだ！ 頭は爽やかな坊主頭。ヒゲはきれいにそったし、この涼しげな空色のポロシャツ。ピッタリとしたジーンズに極めつけはビーチサンダル！」

「坊主はある意味暑苦しいし、ヒゲがなくて顔が見えたほうがむしろ暑苦しいし、シャツは汗が目立つ色ですでに染みになって暑苦しいし、ピチピチになっちゃってるジーンズは暑苦しいし、ビーチサンダルは存在が夏だというのは想起させて暑苦しい。何より気合が入ってるのが暑苦しい」

「そ、そんアーウチッ！」

金的以下略。

「今日は図書室に閉じこもってよう」

涼音は山男を放置して、冷房の効いた図書室に歩いていった。

(後書き)

あとがき

暑いせいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6521e/>

暑いせいですよ

2010年10月30日08時29分発行